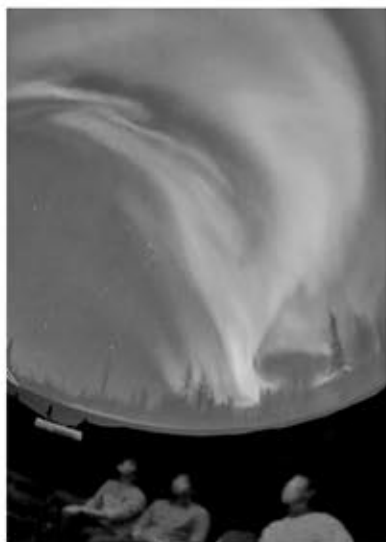




天文台だより

銀河の森天文台
2016 春号
Vol.71

オーロラ生中継大盛況！



4mエアドームでの中継の様子

2016年2月3日(水)～14日(日)の期間、イベント「オーロラウィーク2016 ～カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継～」を開催しました。今年で4年目を迎えた中継は現地からの画像更新頻度が上がり、刻々と変化するオーロラの様子をより体感することができました。中継は、AuroraMAXプロジェクト(カナダ宇宙庁、カルガリー大学、アストロノーミーノース、イエローナイフ市)の協力の下、館内の4mエアドームと150インチスクリーンで行い、期間中400名を越える入館者がありました。

2月2日の試写には、JST(科学技術振興機構)「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」の研修で陸別町を訪れていた札幌やモンゴルから来た高校生グループもオーロラ中継を体験しました。



札幌やモンゴルから来た高校生グループ

「館長コラム」 上出洋介(牡牛座)

私たち自身や私たちの回りの事象は、すべて宇宙の法則に依って支配されています。運命論を説きたいわけではありませんが、私たちの未来がどうなるのかは、宇宙の掟に一握りにされているのです。



(上出洋介館長)

では、宇宙の法則とは一体何でしょうか。ニュートンの万有引力の法則に始まり、中学校までに電磁気学のクーロンの法則、ガウスの法則…と続きますね。法則は英語でlawといいます。

ところで、逆にlawといえば、日常生活では法律のことを意味します。すなわち、社会という人間の共同体での、便宜上の行動規範のことであり、「絶対正しいという決まり」ではないのです。だからこそ、難しい事件では裁判が開かれるのです。同様に、自然の法則はほとんど実験法則であり、絶対正しいという証明は出来ません。2つの物体間に働く力が物体間の距離の2乗に逆比例するという万有引力の法則は正しそうなだけに過ぎません。

アルデバラン食を観測！

2016年2月16日夕方、おうし座の一等星アルデバランが月に隠される、「アルデバラン食」を観測しました。16時4分頃にアルデバランが月に隠され、そして17時7分頃にまた姿を現しました(写真中央)。

天文台ホームページではアルデバラン食の観測動画を見ることができます。

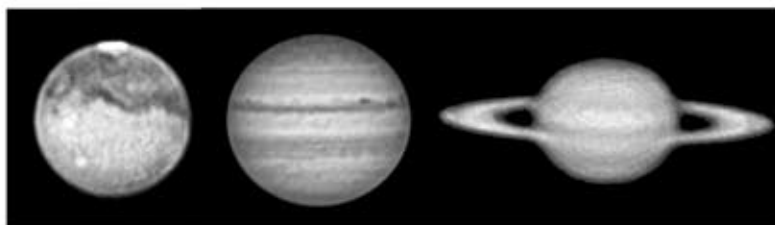
2016年は、2月16日、5月8日、7月2日、9月22日、11月16日と全部で5回のアルデバラン食が観察できます。



2016年2月16日 17:07 撮影

春は火・木・土星が見頃です！

今年は、火星が5月31日に地球に最接近し、さそり座～てんびん座、木星がしし座、土星がへびつかい座の中にあり、木星は3月～6月中旬まで、火星・土星は5月下旬～8月下旬ぐらいまで見頃となります。ぜひ、ご来館下さい。



暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月1日	5:03	17:55	23.0	0:46	10:48
4月15日	4:39	18:12	7.7	11:22	1:06
5月1日	4:14	18:31	23.7	0:53	11:43
5月15日	3:57	18:46	8.3	12:13	0:53
6月1日	3:43	19:03	25.3	1:14	14:08
6月15日	3:39	19:12	10.0	13:55	0:50

天文行事&暦

4月

- 4 清明(24節気:太陽黄経15°)
- 7 ●新月
- 18 水星が東方最大離角
(光度:0.1等, 離角:19.9°)
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 22 ○満月
- 23 町民星空コンサート
- 27-5/8 木星と春の天体観望会

5月

- 4/27-5/8 木星と春の天体観望会
- 2, 3 特別開館
- 5 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 7 ●新月
- 16-27 天文台メンテナンス休館
- 20 小満(24節気:太陽黄経60°)
- 22 ○満月
- 火星が衝
(光度-2.1等、視直径18.4")
- 28-6/12 火星・土星観望会
- 31 火星が最接近(約7,528万km)
特別開館

6月

- 5/28-6/12 火星・土星観望会
- 3 土星が衝
(光度0.0等、視直径18.4")
- 5 ●新月
- 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 水星が西方最大離角
(光度:0.6等, 離角:24.2°)
- 20 ○満月
- 21 夏至(24節気:太陽黄経90°)

春のイベント情報!!

☆木星と春の天体観望会

今年の木星はしし座の中にあり、見頃を迎えています。美しい木星のしま模様や春の天体をお楽しみ下さい。

開催日時: 4月27日(水)~5月8日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

☆火星・土星観望会

この時期、火星・土星が見頃を迎えます。観望会では、火星・土星や季節の天体を観望します。

開催日時: 5月28日(土)~6月12日(日)

※5月31日(火)は特別開館

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜、5/31のみ)

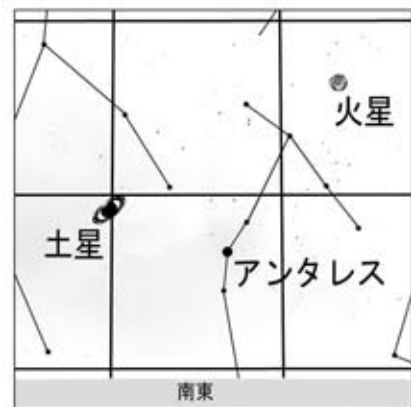
拝啓、天文台より - 「星空コンサート」 -

2月20日(土)、プロミュージシャンのお二人をお招きし、星空コンサートを開催しました。第一部は、成山剛さん(sleepy.abボーカル、ギター)、第二部は、流さんにご演奏いただきました。成山さんのゆったり優しい音楽に包まれ癒されたあと、流さんの力強い歌声に励まされ元気をもらったコンサートでした。残念ながら、当日は雪が降ってしまいましたが、天文台が心地よい音楽で満たされ、お客さまのお顔もほころんでいらっしゃいました。素敵なひとときをありがとうございました。(守)



ペッコカめぐり「火星とアンタレス」

今年火星は見かけ上さそり座のアンタレスにも接します。アンタレスの名前の由来はギリシア語のアンチ・アレスという言葉で、火星に対抗するものという意味を持っています。二つの星がお互いの赤い色を競い合っている様に見えた事からこんな名前が付いたのです。そう、今年はその名前の由来になった様子を見ることができるのです。そして火星はその赤色から戦いや災いを連想される事が多く「火星とアンタレスが近づくと災いが起きる」などと言われてきました。しかし毎年良い事、悪い事、色々な事が世界中で起きています。悪い事を火星とアンタレスのせいにはいけませんよね。(中)



AstroArts ステラナビゲータ9で作成

天文台からのお知らせ

☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。
(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)

☆ 5月2, 3日(月・火)、31日(火)は、特別開館します。

☆ 5月16日(月)~27日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp